

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

国内及び国際海上輸送を通して社会に貢献する

配当性向
20%以上

② 中長期の経営戦略

1. 外航海運業戦略

新規取引先開拓、長期契約獲得による収益安定化、既存主要顧客との関係強化、バラスト航海短縮による効率的配船

3. 投資戦略

外航・内航海運業への再投資、船舶と貨物のバランス投資、船員確保体制構築、新規貨物・船舶新造船機会獲得

2. 内航海運業戦略

新規取引先開拓、顧客需要把握と優位性強化、船舶別損益管理徹底によるコスト削減と適正価格交渉

4. 安全・環境対応

IMO規制対応、CO2削減、EEXI・CII規制適合、次世代燃料検討、船員働き方改革実現

③ 対処すべき課題

① 外航海運業の収益安定化

- ・ 支配船に見合う中長期安定輸送契約獲得
- ・ 市場対応による長期用船・買船・新造船計画立案
- ・ OJT充実による国際人材育成と新規カーゴ獲得

② 内航海運業の船員確保・育成

- ・ 大四マリン株式会社の平均年齢34歳の優位性活用
- ・ 日本船舶・船員確保計画に基づく若年船員計画的雇用
- ・ 2022年4月海事産業基盤強化法の働き方改革実現

③ 環境規制への対応投資

- ・ 2030年までCO2排出量40%以上削減（2008年比）
- ・ EEXI・CII規制適合、機関出力制限設置
- ・ PBCF設置、減速運航、環境配慮塗料など多角的CO2削減

面接で使えるポイント

- ・ 国内及び国際海上輸送を通じた社会貢献の実現姿勢
- ・ 日本軽金属・全農・伊藤忠商事など主要顧客との信頼関係構築
- ・ 大四マリン株式会社の平均年齢34歳で業界課題の若手船員確保に取り組む姿勢

証券コード 9127

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
51億円営業利益率
12.8%財務健康度
85点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 57.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
862万円
海運業内 9位/11社平均年齢
41.3歳
海運業内 4位/11社平均勤続
14.8年
海運業内 2位/11社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース一言

参考: 玉井商船(株)【9127】：決算情報

